

# 令和3年度大分県学力定着状況調査結果のポイント(小学校)

## 国語

知識	活用
51.3(-0.5)	52.1(+0.5)

※( )内は昨年度比

### ■ 結果概況

●知識・活用ともに偏差値50を上回り、全観点で全国値を上回っている。

### □ 課題と改善

●相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の構成を考えることに課題がある。

→「話の内容が明確になるように」するためには、事実と感想、意見を区別したり、詳しい説明を加えたりすることが必要であることを理解させる。

→言語活動例にある「意見や提案など自分の考えを話し、それらを聞いたりする活動」を参考に、目的や相手を意識させ、主体的に学習に取り組ませることが必要。

## 算数

知識	活用
52.1(0)	51.7(+0.5)

※( )内は昨年度比

### ■ 結果概況

●知識・活用ともに偏差値50を上回り、全観点・全領域で全国値を上回っている。

### □ 課題と改善

●判断した根拠を明らかにした上で、理由を説明することに課題がある。

→前提となる考えや理由などの根拠を明らかにして、論理的に考えたり説明したりすることが大切である。その際、過不足なく説明できるように『説明の基本形』を利用して説明させるなどして、論理的な説明の組み立てに慣れることが必要である。

#### 『説明の基本形(例)』

- ①考え方(根拠)を示し方針をはっきりさせる。
- ②取り出した情報を整理し、計算等を行う。
- ③答えにつながる計算や説明を行う。
- ④答え(結論)を導き出す。

※①～④に基づいた説明ができるように発達段階に応じた指導を行うことが大切である。  
※説明を聞きながら、他者の足りない点(例えば①又は②)に気付くようにする。

## 理科

知識	活用
51.4(+0.5)	50.5(+0.2)

※( )内は昨年度比

### ■ 結果概況

●知識・活用ともに偏差値50を上回り、全観点・全領域で全国値を上回っている。

### □ 課題と改善

●予想が正しいとした場合に得られる結果を推測することに課題がある。

●観察・実験等の基本的な技能の習得に課題がある。

→児童が見いだした問題に対して、予想や仮説をもち、それらを基にして観察・実験などの解決の方法を発想する学習活動の充実させるとともに、観察・実験などに関する技能を確実に身に付けさせることが必要である。